

令和6年

地域住民と外国人の交流事業事例集



福岡市南区



# はじめに

南区では、外国人との共生社会をより推進していくことを目的に、外国人・地域・行政の交流や相互理解の促進に取り組んでいます。

この度、令和6年1～12月に各地域にて実施された交流事業について事例集を作成しました。作成にあたり各校区、公民館の皆さま、ご協力いただきありがとうございました。

今後、各地域において外国人との交流事業を企画される際の参考になれば幸いです。

## 目 次

玉川校区	留学生との交流会	1
西高宮校区	ヒューマンライツ講座 第1回みんなでカフェ 「多文化共生についてみんなで考えてみよう 話してみよう」	2
	ヒューマンライツ講座 第2回みんなでカフェ 「スリランカを知ろう」	3
西花畑校区	シニア教室「インドの文化にふれよう」	4
野多目校区	国際理解教育	5
	やさしい日本語教室	6
	本場中国の餃子を作って中国文化を知ろう	7
塩原校区	福岡日本語学校留学生交流会「小学校訪問と凧あげ」	8
	福岡日本語学校留学生交流会「茶道体験」	9
	シンチャオ！ベトナム～教えて チャンさん～【1】	10
	シンチャオ！ベトナム～教えて チャンさん～【2】	11
	福岡日本語学校訪問	12
横手校区	福岡日本語学校との交流会(1)	13
	福岡日本語学校との交流会(2)	14
南区	外国人と日本人の交流イベントいっしょにつくってみよう！ イベントプランニング ワークショップ①②	15
	みんなで Grow Up！～南区共生プロジェクト～ YEAR-END PARTY 2024	16

## 玉川校区：留学生との交流会

開催日	令和6年12月15日(日) 10:00~12:00
開催場所	玉川公民館 講堂
参加者数	福岡第一高等学校 留学生12人 春吉中学校生徒会8人・太鼓部8人、地域住民20人
主催	玉川校区人権尊重推進協議会・男女共同参画協議会共催
参加募集方法	春吉中学校に依頼
事業のきっかけ	地域の留学生と中学生や地域住民との交流の場を作りたいかったため
講師等	福岡第一高等学校 留学生
講師依頼の経緯	校区内の留学生が所属する学校で普段から地域との交流もあり
打合せ回数	第一高校1回(他は電話やメールでのやり取り)、春中2回

### ■内容

福岡第一高校の留学生と春吉中学校の生徒の交流会。

1. 参加者全員でじゃんけん列車
2. 留学生より自国の紹介(人口、食べ物、観光地など)
3. グループに分かれてトーク
4. 春吉中学校太鼓部による和太鼓演奏、留学生の和太鼓演奏体験
5. 人尊協・男女協より留学生へ記念品を渡し、参加者全員で集合写真の撮影

### ■主催者の感想

参加した留学生や中学生が楽しそうに過ごしていました。

「じゃんけん列車」では最初ぎこちなかった子どもたちも、だんだん声が出るようになって盛り上がっていました。「留学生の自国発表」では、各国の知られざる情報をたくさん教えてもらいました。留学生も、クイズを交えたり、たくさん写真を使ったり、工夫して発表してくれました。「グループトーク」では、お題を決めて話をしてもらったので、生徒たちも話がしやすかったのではないかと思います。なかなか会話が活発に進まないグループには、地域の大人が声をかけるなどして、話しやすくなるように工夫しました。「太鼓部の演奏」では、留学生に太鼓にチャレンジしてもらい、日本の文化に触れるいい機会になったのではないかと思います。



西高宮校区：ヒューマンライツ講座 第1回 みんなでカフェ  
「多文化共生についてみんなで考えてみよう 話してみよう」

開催日	令和6年5月25日(土) 13:00~15:00
開催場所	西高宮公民館 学習室
参加者数	地域住民17人
主催	西高宮校区人権尊重推進協議会
参加募集方法	公民館だより、人尊協広報誌、声かけ
事業のきっかけ	令和5年度、南区多文化共生プロジェクトに参加
講師等	南区役所伴走支援(NPO 法人 ドネルモ)
講師依頼の経緯	南区役所伴走支援
打合せ回数	2回(他、電話やメールでやり取り)

■内容

南区総務部企画振興課発行の「多文化共生ガイドブック」を用いて、在住外国人の状況等について学習しました。その後、普段の生活における多文化共生について意見交換をしたり、やさしい日本語を使って外国人住民向けの防災訓練の案内文を作成するなど、グループワークを行いました。



■主催者の感想

講師の話もわかりやすく、また、町内会長や民生委員等、地域の活動に携わり普段から問題意識の高い参加者が多かったため、南区における外国人の状況等について知ることができて良かったです。



## 西高宮校区：ヒューマンライツ講座 第2回 みんなでカフェ 「スリランカを知ろう」

開催日	令和6年7月6日(土) 14:00～16:00
開催場所	西高宮公民館 講堂
参加者数	地域住民30人(小学生の参加あり)
主催	西高宮校区人権尊重推進協議会
参加募集方法	公民館だより、人尊協広報誌、声かけ
事業のきっかけ	異文化体験を通して、多様性を学ぶ
講師等	市内在住のスリランカ出身の方
講師依頼の経緯	南区役所主催のワークショップで知り合った
打合せ回数	1回(他、電話やメールでやり取り)

### ■内容

講師の方にスリランカの国や文化について紹介していただいたあと、参加者が民族衣装を試着しました。紅茶の淹れ方を学び、スリランカの紅茶やお菓子を食べながら楽しく交流しました。



### ■主催者の感想

講師の方は日本語も流暢で、参加した小学生にもやさしく声をかけてくださり、会場はあたたかい雰囲気になりました。参加者からは、国が違っても、物事に対する考え方や規範は同じだということを感じることができうれしかった、とのお声をいただきました。

11月23日開催の校区の秋まつりには、講師の方と共にスリランカカレーの出店をし、長い行列ができる盛況ぶりでした。



## 西花畑校区：シニア教室「インドの文化にふれよう」

開催日	令和6年7月4日(木)
開催場所	西花畑公民館 講堂
参加者数	33人
主催	西花畑公民館
参加募集方法	年間登録しているシニア教室生
事業のきっかけ	サークル活動に来られている方から、校区在住のインドの方と一緒にインドへ旅行し、インドにあるお宅へ訪問しインドのお正月を過ごすなどインドの文化にふれる体験をした話を聞き、シニアの教室でもインドの文化にふれる時間になればと考えたため
講師等	校区在住のインド出身の方、同じ町内に住む日本人
講師依頼の経緯	公民館職員と交流があり(インドの方は、小学校 PTA ボランティアグループで、小学生向けに外国の文化や言葉にふれる事業を開催されていた)
打合せ回数	2回の打ち合わせと数回の相談を直接会って行った

### ■内容

講師の方にインドをエリアごとにわけて、気候や食べ物、街並みなどの特徴についてスライドを見ながら説明していただき、インドの行事や日本との違いを話していただきました。

インドのお正月を体験した方からは、旅行中の感動体験を写真や動画を見ながら説明していただきました。

インドの衣装やバッグなどお土産に買ってきたものを展示し、途中休憩の時にチャイを試飲しました。

### ■主催者の感想

校区在住の外国人の方の話を聞いてもらい、交流のきっかけとなりました。

打ち合わせの際は、やさしい日本語と英語を使ってコミュニケーションをとりました。



## 野多目校区：国際理解教育

開催日	①令和6年4月25日(木) ②5月24日(金)
開催場所	野多目公民館 地域団体室
参加者数	①11人 ②17人
主催	野多目公民館
参加募集方法	公民館だより
事業のきっかけ	日本語学級を始めたい方が、過去の公民館だよりから野多目公民館で外国人との交流事業を開催しているのを見かけられて連絡がきたこと
講師等	大学講師、日本語教室ボランティア
講師依頼の経緯	講師からの依頼
打合せ回数	①4回 ②3回

### ■内容

昨今の識字率や在日外国人の状況、日本語教室の必要性など、座学形式で行いました。

### ■主催者の感想

6月からの日本語学級開催へ向けて、ボランティアをしてくれる人の発掘と外国人学習者への周知を目的に開催しました。“誰かのために何かをしたい”という方々が集まってくれたため、日本語教室を開催できる目途を付けることができました。

公民館だより配布後、外国籍の数名の方から「日本語教室はいつからですか？」と連絡が入るも、その後来館されないのが、少し先のことになるとう参加意欲が下がると感じました。日本人に対しても周知活動は難しいが、外国人は更に難しいと感じました。





## 野多目校区：やさしい日本語教室

開催日	①令和6年6月24日(月) ②7月22日(月) ③8月26日(月) ④10月25日(金) ⑤11月16日(土)
開催場所	野多目公民館 地域団体室、学習室
参加者数	①10人 ②7人 ③8人 ④10人 ⑤11人
主催	野多目公民館
参加募集方法	公民館だより、チラシ配布
事業のきっかけ	日本語学級を始めたい方からの依頼
講師等	日本語教室講師
講師依頼の経緯	講師からの依頼
打合せ回数	ライングループを作り、ラインにて打合せ

### ■内容

外国人学習者がまだ来ていないので、ボランティアの方々が講師からやさしい日本語の教え方を教わっています。また、周知活動についてどのようにすれば、必要な方に情報が伝わるのかを協議しています。

### ■主催者の感想

いざ、日本語教室を開催してみると外国人学習者が来ないので、継続していくべきなのかと躊躇しました。ただ、地域に外国人居住者の方々の助けが出来ればというボランティアの方々の思いと、ボランティア同志の繋がりができ、学習者が来ないながらも、良い結びつきができていると感じています。

## 野多目校区：本場中国餃子を作って中国文化を知ろう

開催日	令和6年9月14日(土)
開催場所	野多目公民館 学習室
参加者数	16人
主催	野多目公民館
参加募集方法	公民館だより
事業のきっかけ	校区在住の中国出身の方が公民館に来館されたこと
講師等	校区在住の中国出身の方
講師依頼の経緯	講師から地域の人々と親しくなりたいとの話があったため
打合せ回数	2回

### ■内容

講師から中国の餃子の作り方を教わりながら、中国の生活状況や日本に来てどのような感想を持っているかなど参加者からの質問に答えていただきました。

### ■主催者の感想

講師の方と同じマンションに住んでいる方が何人か来られたが、中国の方が住んでいることを全く知らなかったとの話があり、改めて昨今の近所付き合いの希薄さを感じました。このような講座を開催することで地域力を強めると改めて感じました。また、講師と参加者、参加者同士の輪ができ、お互いを理解することに貢献できたと思います。



## 塩原校区：福岡日本語学校留学生交流会「小学校訪問と凧あげ」

開催日	令和6年2月8日(木)
開催場所	塩原小学校・那珂川河川敷(小学校下)
参加者数	日本語学校留学生20人、主に小学6年生120人
主催	塩原公民館
事業のきっかけ	日本語学校より留学生に日本文化の体験と交流を依頼されたこと
講師等	【協力】塩原小学校校長、教頭、英語指導教諭 ほか
講師依頼の経緯	日本語学校との打ち合わせのなかで、留学生は観光地よりも日本の小学校などに興味があると分かり、小学校に交流会の開催を相談。小学校も児童の国際交流になると快諾。
打合せ回数	主にメールにて4回

### ■内容

教頭の案内にて校舎内見学。留学生は特別教室や給食室など自国にはない設備に興味深々で、児童が清掃をすることにも驚いていました。

6年生の教室で、英語で歓迎のあいさつを受けたあと、九州大学院生による凧あげの解説を6年生といっしょに聴き、河川敷へ移動。地域の方に凧のあげ方を教わりながら、凧をあげました。なかなか思うようにあがらず苦労していたが、みんな楽しそうでした。なかには名人級に空高くあげた方もいて、称賛の嵐でした。また、6年生があげた連凧の迫力に拍手喝采でした。

### ■主催者の感想

留学生は、時間厳守の概念がまだ薄く、小学校のカリキュラムに影響がないよう当日の調整が大変でした。観光地よりも日本の学校に興味があること、英語よりも簡単な日本語の方が通じることなど交流から知り得たことは、小学校の先生方にも地域にも大きな収穫でした。



## 塩原校区：福岡日本語学校留学生交流会「茶道体験」

開催日	令和6年2月16日(金)
開催場所	塩原公民館 講堂・和室
参加者数	日本語学校留学生20人、茶道教室会員8人
主催	塩原公民館
事業のきっかけ	日本語学校から留学生と地域の方との交流や日本文化の体験を依頼されたため
講師等	茶道教室の会員
講師依頼の経緯	留学生の日本文化の体験として茶道教室に依頼
打合せ回数	主にメールにて4回

### ■内容

お点前の見学。

茶道具、お菓子、飲み方の説明をし、点て出しにて一服。

3グループに分かれて、自分で一服点てる。和室でのお点前見学と畳の歩き方。

### ■主催者の感想

留学生には抹茶味のお菓子の流行もあり抹茶への抵抗はなかったが、初めて抹茶そのものを飲んだ表情は様々でした。自分でお茶を点ててみるという体験は好評でした。

「みんなで仲良くお茶を飲む」文化は自国にもあると話してくれ、ものは違うけれども同じだね、と笑いあいました。

茶道体験は道具選びや裏方に人手を要するため、茶道教室の方にはかなり労をかけました。



## 塩原校区：シンチャオ！ベトナム ～教えて チャンさん～【1】

開催日	令和6年9月14日(土)
開催場所	塩原公民館 講堂・学習室
参加者数	21人
主催	主催:塩原公民館 共催:自治協議会、社会福祉協議会
参加募集方法	公民館だより
事業のきっかけ	かねてより問題視されていた外国籍住民との生活上のトラブル。距離を縮める手段として、まずは相手を知ることから始めようと考えた
講師等	南区在住のベトナム出身の方
講師依頼の経緯	南区役所主催のワークショップで知り合った
打合せ回数	【1】【2】合わせて4回 他 SNS にて多数回

### ■内容

講師の方に、ベトナムの今の様子や文化、来日のきっかけや長く住んでみて思うことなどを話していただきました。ベトナムの紙芝居をベトナム語と日本語で読んでいただきました。

ベトナムのコーヒーやお菓子を食べながら楽しく交流しました。



### ■主催者の感想

講師の方が日本語が堪能な方なので、国の紹介も奥行きがあり、参加者からの質問も多岐に渡り、ベトナムという国を身近に感じられました。

この企画が開催されることを聞き、校区に住むベトナムの紙芝居の所有者からぜひ読み聞かせにと提案いただき、初めてベトナム語で披露されることとなりました。



## 塩原校区：シンチャオ！ベトナム ～教えて チャンさん～【2】

開催日	令和6年11月30日(土)
開催場所	塩原公民館 講堂・学習室
参加者数	19人
主催	主催：塩原公民館 共催：自治協議会、社会福祉協議会
参加募集方法	公民館だより
事業のきっかけ	かねてより問題視されていた外国籍住民との生活上のトラブル。距離を縮める手段として、まずは相手を知ることから始めようと考えた
講師等	南区在住のベトナム出身の方
講師依頼の経緯	南区役所主催のワークショップで知り合った
打合せ回数	【1】【2】合わせて4回 他 SNS にて多数回

### ■内容

講師の方と一緒に、牛肉のフォー、生春巻き、三色ゼリーなどのベトナム料理を作り、一緒に食べながら楽しく交流しました。

### ■主催者の感想

『相手を知るいちばんの近道は、その人の食べているものを一緒に食べること』。たくさんあるベトナム料理から代表的なもので馴染みやすいものとしてメニューを選定しました。幅広い年齢層の方々がわいわい楽しそうに料理している様子は、他の料理講座とは違う雰囲気でした。

試食では、たくさんの感想や講師の方への質問が飛び交っていました。多文化共生事業の第一歩としては、成功だったと思います。

大変だったことは、独特の材料の入手経路が限られていること。講師は、「日本の〇〇で代用できる」などと教えてくれたので、参加者は家でも気軽に挑戦できると喜んでいました。返せば、在住外国人は母国の味を日本で手に入る食材で補う苦勞をしているのだということ。参加者が異国で暮らす大変さに思い至ってくれていると願っています。



## 塩原校区：福岡日本語学校訪問

開催日	令和6年11月22日(金) 午前と午後に分かれて訪問
開催場所	福岡日本語学校
参加者数	校区住民9人、日本語学校の先生や生徒多数
主催	塩原校区人権尊重推進協議会
参加募集方法	校区人権尊重推進協議会委員と自治協議会委員へ案内
事業のきっかけ	以前から外国人との共生について人尊協主体に講演会等を開催していたがコロナにて中断。校区内には多くの日本語学校があり、そのうちの一つ福岡日本語学校がある地域の自治会長が日本語学校と親交があり、学校を訪問して留学生との交流をお願いしてみようという話になった。
打合せ回数	面会1回。メールにて4回ほど

### ■内容

地域住民はグループに分かれて、各教室にて留学生と交流。留学生が自国の紹介や民族の踊り、歌を紹介した後、一緒にゲームをしたり踊ったりしました。また、グループで自己紹介をしたり、留学生からの質問に答えたりと楽しく話をしました。

後日、日本語学校の留学生からの感謝の手紙や写真を公民館に届けてくれました。

### ■主催者の感想

地域住民の訪問のために、留学生たちが事前に質問を考えていてくれたり、故郷の歌やダンスを準備してくれたり「思い」が十分に伝わってきました。何よりも留学生たちの真剣さに感動しました。



## 横手校区：福岡日本語学校との交流会（1）

開催日	令和6年1月15日(月) 15:00～17:30
開催場所	横手公民館 講堂
参加者数	地域住民25人(ダーツサークル、踊りの先生、男女協委員) 留学生7人、先生1人
主催	横手校区男女共同参画協議会
参加募集方法	日本語学校、ダーツサークル、踊りの先生に声かけ
事業のきっかけ	これまでとは違う委員研修のかたちを考えてみたいという提案があり、校区内に留学生も増えていることから日本語学校の留学生との交流を企画したもの
打合せ回数	3回（他、電話、メール、ラインにてやり取り）

### ■内容

- 1.自己紹介
- 2.ダーツで交流
- 3.参加者全員で「総踊り」(炭坑節、博多どんたく)
- 4.グループに分かれて茶話会、ゲーム(トランプなど)

### ■主催者の感想

留学生も地域住民もすぐに打ち解けることができ、本当に楽しかったです。特に留学生には喜んでもらえたようでした。

もっと早い時期に企画とお声かけができていれば、もう少したくさん留学生との交流ができていたのかもしれませんが。





## 横手校区：福岡日本語学校との交流会（2）

開催日	令和6年6月3日(月) 10:00~16:15
開催場所	福岡日本語学校
参加者数	地域住民20人 留学生73人、先生7人
主催	横手校区男女共同参画協議会
参加募集方法	公民館にチラシ配架、声かけ
事業のきっかけ	1月に開催した交流会では一部の留学生としか交流できなかったため、日本語学校へ訪問し授業に参加
打合せ回数	4回（他、電話、メール、ラインにてやり取り）

### ■内容

#### 1. 自国紹介

留学生が国別に分かれて、自国の歴史や観光名所、祭りなどを日本語で紹介

#### 2. みんなで交流

- ・詩吟「名槍日本號」
- ・日本文化体験(風呂敷の包み方、けん玉、お手玉、あやとり、折り紙)
- ・博多弁講座

### ■主催者の感想

留学生の自国の紹介(ネパール、ミャンマー、ベトナム、スリランカ)で、興味深い話を聞くことができ、勉強になりました。それぞれの国民性や考え方の違い、宗教による生活感など、少し理解することができました。

交流する際のグループ分けなど、かたちを整えるまでがかなり大変でした。



## 南区：外国人と日本人の交流イベントをいっしょにつくってみよう！ イベントプランニング ワークショップ ①②

開催日	①令和6年9月28日(土) ②10月12日(土) 14:00~16:00
開催場所	①南区役所大会議室 ②南区保健福祉センター講堂
参加者数	区内在住・通勤する日本人と外国人 15人
主催	南区総務部企画振興課
参加募集方法	Facebook、チラシ、声かけ

### ■内容

同じ地域で生活している外国人と日本人が、知り合いになれたり、交流できたりするイベントを、みんなで一緒に企画。ワークショップを2回開催し、3回目となる12月7日(土)に、イベントを開催しました。

ワークショップ1回目では、「こんなことやってみたい」「やってみたら楽しそう」と思う企画をみんなで考えました。

2回目では、12月に行うイベントの内容を具体的に決定し、参加者それぞれの役割分担を行いました。



ワーキングメンバー募集のチラシ

### ■主催者の感想

企画の段階から自治協議会の役員の方に参加していただくことで、来年度以降に各地域で交流事業を実施する際の参考にしていただければと考えました。

日本人も外国人も皆さん楽しそうな表情で、積極的に意見を出し合っていました。イベントに参加するだけではなく一緒にイベントの内容を考えることで、回を追うごとに、参加された方同士の信頼関係が芽生えているように感じました。



# 南区：みんなでGrow Up! ～ 南区共生プロジェクト ～ YEAR-END PARTY 2024

開催日	令和6年12月7日(土) 13:00～16:00
開催場所	南区保健福祉センター講堂
参加者数	区内在住、通勤・通学する日本人と外国人 44人
主催	南区総務部企画振興課
参加募集方法	Facebook、チラシ、声かけ

## ■内容

1. あみだくじ自己紹介
2. 新聞スリッパづくり
3. ベトナム・日本の歌をみんなでうたう  
ネパールのダンスをみんなで踊る
4. 各国の料理を食べながら交流
  - ・ベトナムのおこわ
  - ・ネパールのぎょうぎ
  - ・日本のおでん
5. みんなで写真撮影
6. フリータイム
7. イベントを企画したメンバーの紹介



イベント参加者募集のチラシ



## ■主催者の感想

歌やダンス、食べ物など、異なる文化を体験することで、地域で外国人の方と共に暮らすことの楽しさを感じる良い機会になったのではないかと思います。

パーティに参加された方からは、「いろいろな国の方と交流できて世界が広がった」「もっと仲良くしながらお互いに生活していきたい」「地域でも交流の機会がもっと増えるといい」とのお声をいただきました。



# **みんなでGROWUP!** FUKUOKA MINAMI

福岡市南区では、外国人の方々との共生社会をより推進していくことを目的に、外国人・地域・行政の交流や相互理解の促進に向けた取組み「みんなでGrow Up! ~南区共生プロジェクト~」を行っています。

- **福岡市南区外国人住民の方向け Facebook ページ**  
「みんなで Grow Up ~南区共生プロジェクト~」

外国人住民のみなさんの生活に役立つ情報などを発信しています。



- **福岡市南区多文化共生ガイドブック**

地域における外国人住民との交流の深め方や各種相談窓口などを掲載しています。



令和7年3月

福岡市南区総務部企画振興課

〒815-8501

福岡市南区塩原3丁目25番1号

TEL 092-559-5016

FAX 092-559-5014

E-mail kikaku.MNO@city.fukuoka.lg.jp